

くだわはるのきだこふんぐんしゅつどいぶついつかつ
66. 久田和春の木田古墳群出土遺物一括

■ 指定日

平成2年12月12日

■ 種別

有形文化財 考古資料

■ 年代

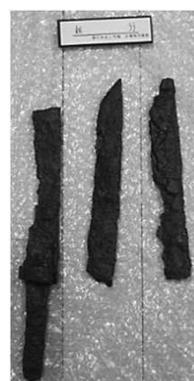
古墳時代後期

■ 所在地

朝来市山東町大月 埋蔵文化財センター

■ 所有者

朝来市



■ 内容

古墳群は、岡田古墳群の東約2.5kmの東河川とその支流である直谷川にはさまれた低台地上に位置している。昭和58年(1983)、ほ場整備事業に伴い発掘調査を行ったが、確認された2基の古墳は、すでに墳丘を削平された状態であった。

1号墳は、出土した耳環の数から、少なくとも3回の埋葬が行われている。築造時期は6世紀末で、埋葬は7世紀初頭まで行われていたと推定される。ここでは、ほかに金銅装馬具(はみ・くつわ・引手・障泥吊金具・辻金具・鉸具)や、鏝縁に象嵌を施した大刀などが出土している。2号墳もほぼ同様と推定されるが、盗掘のためか遺物は少ない。